

第 18 回
全日本少年少女けん玉道選手権大会
東海代表選考会
大会結果

期日 平成 18 年 6 月 17 日 (土)

会場 名古屋市・枇杷島スポーツセンター
主催 日本けん玉協会東海総支部

初級の部 予選成績

順位	氏名	学校名			学年	得点
1	鈴木 愛美	静岡県	島田市	第三小学校	5年	46
2	澤瀬 莉穂	静岡県	島田市	第三小学校	6年	44
3	吉川 詩乃	愛知県	名古屋市	篠原小学校	3年	44
4	一瀬 美紅	愛知県	名古屋市	明正小学校	6年	43
5	松岡 伽奈子	愛知県	名古屋市	明正小学校	5年	42
6	牛田 裕貴	愛知県	名古屋市	明正小学校	5年	40
7	田口 かりん	静岡県	島田市	第三小学校	4年	39
8	吉川 雄大	愛知県	名古屋市	明正小学校	3年	38
9	佐久間 郁乃	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	3年	36
10	岩田 安未	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	2年	35
11	大島 可衣	愛知県	豊田市	稲武小学校	5年	32
12	水口 真吾	静岡県	沼津市	原小学校	1年	26
13	福田 精也	愛知県	豊田市	稲武小学校	2年	25
14	児玉 将幸	愛知県	名古屋市	明正小学校	5年	19
15	田口 キララ	静岡県	島田市	第三小学校	1年	18
16	服部 柚香	愛知県	名古屋市	川中小学校	4年	17
17	河合 駿	愛知県	豊田市	稲武保育園	年長	16
18	大前 清香	愛知県	名古屋市	川中小学校	4年	7
19	長縄 僚馬	愛知県	名古屋市	川中小学校	4年	7
20	金松 由綺	愛知県	名古屋市	光城小学校	4年	5
21	吉川 和	愛知県	名古屋市	富田第二保育園		4
22	加賀 早織	愛知県	名古屋市	川中小学校	3年	4
23	加賀 太紀	愛知県	名古屋市	川中小学校	2年	3
24	金松 葉七	愛知県	名古屋市	川中小学校	4年	2
25	松浦 友輝	愛知県	名古屋市	光城小学校	4年	2
26	石本 智一	愛知県	名古屋市	川中小学校	1年	0
26	安藤 輝彦	愛知県	名古屋市	光城小学校	1年	0
26	石井 隆菜	愛知県	名古屋市	川中小学校	1年	0

合計 28名参加

初級の部 1回戦第1試合

鈴木			吉川雄			
1	2	3	種目	1	2	3
○	○	○	・ ふり大皿	○	○	○
×	○	×	・ 世界一周	×	○	○
×			・ ふりけん	○		
			・			
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

初級の部 1回戦第2試合

吉川詩			牛田			
1	2	3	種目	1	2	3
○	○	×	・ 空中ブランコ	○	○	○
○	×		・ 野球大皿	○	○	
			・			
			・			
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

初級の部 1回戦第3試合

松岡			一瀬			
1	2	3	種目	1	2	3
×			・ 日本一周	○		
○	○	○	・ ふり大皿	○	○	○
○	○	○	・ 空中ブランコ	○	○	○
×			・ とめけん	○		
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

初級の部 1回戦第4試合

田口				澤瀬		
1	2	3	種目	1	2	3
×	×	×	世界一周	×	×	×
×	×		日本一周	×	○	
○	×		ふり大皿	○	○	
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

初級の部 準決勝第1試合

吉川雄				牛田		
1	2	3	種目	1	2	3
○			日本一周	×		
○			ふりけん	×		
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

初級の部 準決勝第2試合

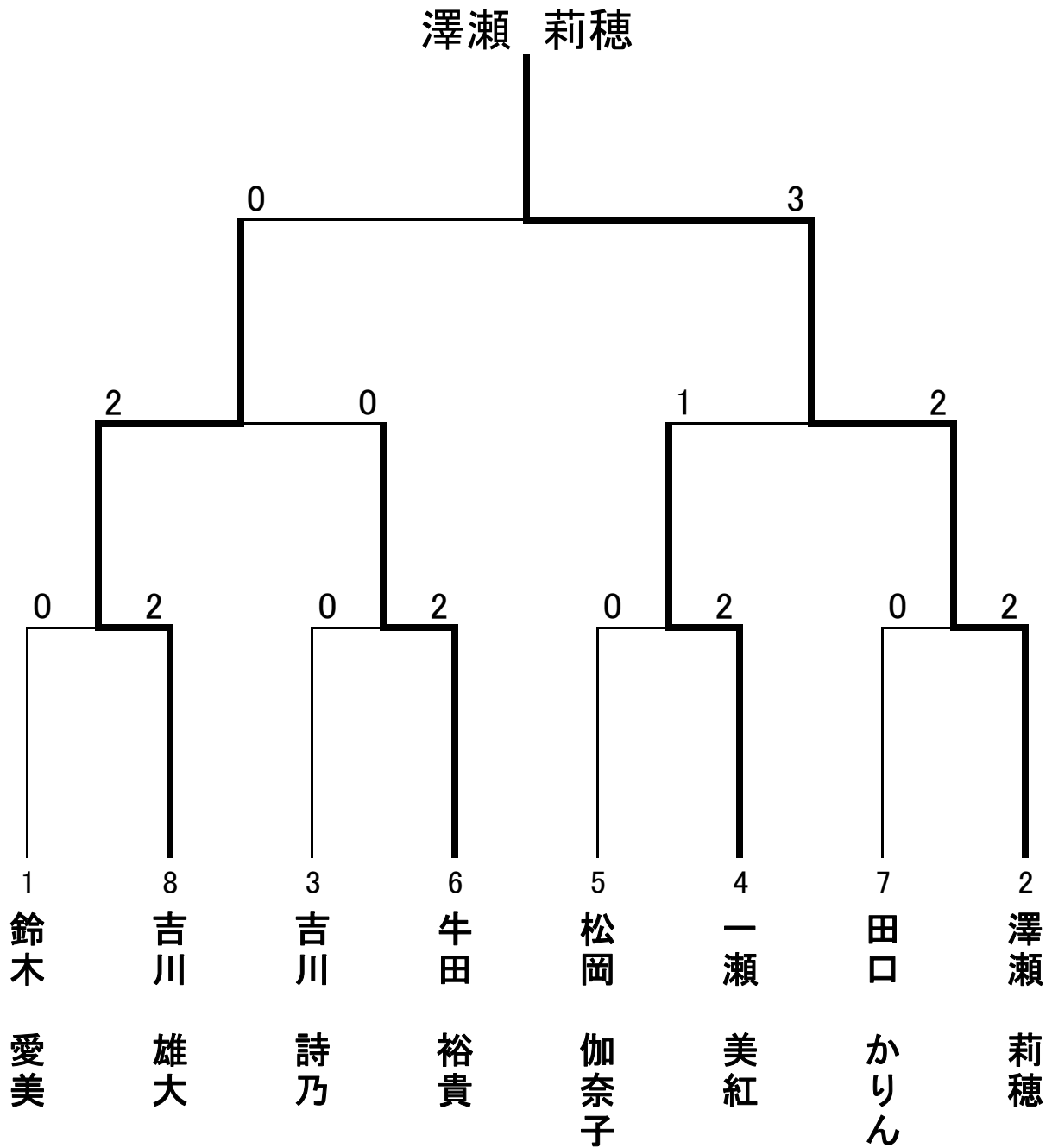
一瀬				澤瀬		
1	2	3	種目	1	2	3
○	×		空中ブランコ	○	○	
○	×	○	とめけん	○	×	×
×			飛行機	○		
秒			タイム競技	秒		
1			得点	2		

初級の部 決勝

吉川雄				澤瀬		
1	2	3	種目	1	2	3
×			・ 空中ブランコ	○		
×	×		世界一周	×	○	
×			・ 日本一周	○		
			・			
			・			
			・			
秒			タイム競技	秒		
0			得点	3		

初級決勝トーナメント

優勝: 澤瀬 莉穂
準優勝: 吉川 雄大



初級の部 観戦レポート：白砂 貴之

今年はとてもレベルが高かったと思う。予選ではトップが46点、ボーダーラインが38点と、非常に厳しい戦いであった。予選落ちはしてしまったが、幼稚園年長から低学年にかけての選手が力をつけてきていると感じた。次の大会に大いに期待したい。

トーナメントでは、決勝にあがってきた吉川雄大選手に目が止まった。予選ではギリギリの8位に入ったにもかかわらず、とても安定した試合運びで落ち着いた感じがあり、非常に良かったと思う。残念ながら、決勝では立て続けのミスで負けてしまったが、まだ3年生なので、これから大いに期待できそうだ。決勝という緊迫した雰囲気の中で試合をできるということは、めったに経験できないことなので、今回得たものを次の試合に活かしてもらいたい。

優勝した澤瀬選手は、相手のミスを逃さず、確実に決めるところは決めることができている、非常に良かったと思う。小学校生活最後の年に、良い成績を残せて記念になっただろう。

まだけん玉を始めたばかりの人でも、努力をすれば成績はそれに答えてくれるはず。毎日毎日、少しずつ技を磨いていけば、きっとどの人にも優勝のチャンスがあると思うので、今後もぜひがんばってもらいたい。

中級の部 予選成績

順位	氏名	学校名			学年	得点
1	青崎 優司	愛知県	名古屋市	明正小学校	6年	48
2	寺嶋 勇人	愛知県	名古屋市	明正小学校	6年	47
3	長谷 真之介	静岡県	長泉町	長泉北小学校	6年	47
4	吉山 美土理	愛知県	名古屋市	明正小学校	6年	46
5	永井 皐	静岡県	御殿場市	御殿場南小学校	5年	44
6	水口 寛太郎	静岡県	沼津市	原小学校	5年	43
7	宇佐美 龍矢	愛知県	名古屋市	明正小学校	5年	40
8	青崎 幸司	愛知県	名古屋市	明正小学校	4年	39
9	原田 俊平	静岡県	長泉町	長泉北小学校	3年	37
10	松岡 賢汰	愛知県	名古屋市	明正小学校	6年	36
11	鎌野 秀平	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	3年	35
12	茂木 梨央奈	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	4年	32
13	前田 花奈	愛知県	名古屋市	篠原小学校	5年	31
14	梅賀 智子	愛知県	名古屋市	篠原小学校	6年	31
15	後藤 由香里	愛知県	豊田市	稲武小学校	5年	29
16	柄澤 蘭	愛知県	豊田市	稲武小学校	2年	28
17	竹本 圭治	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	3年	26
18	内藤 泰雅	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	2年	25
19	勝又 柁太	静岡県	御殿場市	高根小学校	3年	23
20	河合 智哉	愛知県	豊田市	稲武小学校	2年	15
21	田尻 葉奈	愛知県	豊田市	稲武小学校	6年	3

合計 21名参加

中級の部 1回戦第1試合

青崎優				青崎幸		
1	2	3	種目	1	2	3
○			・ けん先すべり	×		
×	×		地球まわし	×	○	
			・			
			・			
18秒			タイム競技	秒		
2			得点	1		

中級の部 1回戦第2試合

長谷				水口		
1	2	3	種目	1	2	3
○			・ 地球まわし	×		
○	○	○	とめけん	○	○	○
×	×	×	・ 宇宙一周	×	×	○
			・			
21.18秒			タイム競技	秒		
2			得点	1		

中級の部 1回戦第3試合

永井				吉山		
1	2	3	種目	1	2	3
○			・ つるしとめけん	×		
○	○		宇宙一周	○	×	
			・			
			・			
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

中級の部 1回戦第4試合

宇佐美			寺嶋			
1	2	3	種目	1	2	3
○	○	×	とめけん	○	○	○
×			けん先すべり	○		
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

中級の部 準決勝第1試合

青崎			長谷			
1	2	3	種目	1	2	3
×			うらふりけん	○		
○			飛行機	×		
24.94秒			タイム競技	秒		
2			種目	1		

中級の部 準決勝第2試合

永井			寺嶋			
1	2	3	種目	1	2	3
×	○	×	宇宙一周	×	○	○
×			飛行機	○		
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

中級の部 決勝

青崎			種目	寺嶋		
1	2	3		1	2	3
○	○	○	・ 飛行機	○	○	○
×			うぐいす	○		
×	○	×	・ うらふりけん	×	○	×
○	○		とめけん	○	×	
×			・ けん先すべり	○		
○	○	○	ふりけん	○	○	○
秒			タイム競技	秒		
1			得点	2		

中級の部観戦レポート：岩田祥

全国大会の華々しい舞台を踏むまでには、各地区の予選会という関門を突破しなければなりません。今年も各地区において様々な名勝負が生み出された事でしょう。我が東海地区も、その1ブロックの役割を担っており、毎年6月には他の地区にも引けを取らない激戦が繰り広げられています。

その「東海大会」も、今年で18回目の開催を迎えました。私が最後に選手として出場したのが第8回大会ですから、10年もの月日が経っていると同時に、私が初めて競技員の仕事を仰せ付かった時から数え、丁度10回目の大会であるということを考えると、非常に感慨深いものがありました。

その間を振り返ると、東海地区の大会運営も試行錯誤を続けた結果、様々な変更点が増えられてきました。今大会で初開催の運びとなった、「中級の部」は、中でも取り分け大きな変革と言えるでしょう。

数年前より、本大会には出場することができない初級者を対象にした大会を「ビギナーの部」として開催し好評を得てきましたが、ここ1、2年で、ある問題点が浮上してきました。ビギナークラスと、本大会出場者との技能差が大きいという事です。

本大会において、観客の前で舞台に立つという経験ができるのは、予選上位の数名だけという事になりますが、わずかな得点差で檜舞台に立つ事ができない選手は、決勝進出者に劣らない実力を持っているのにも関わらず、経験値の面で大きな差をつけられてしまうのです。しかし、だからと言って、「ビギナーの部」に参加することは不可能です。観客の眼前での試合を体験する事は、各選手の技能向上には欠かせない事であるため、より多くの選手たちにそれを学んでもらうべく、今大会では「中級の部」を新たに設ける事になりました。

暗中を模索するような状況での初開催で、数多くの不安を抱えていましたが、実際に試合が始まると、それが杞憂であることが解り、競技員としましては、「一安心した」というのが、今の正直な気持ちです。

すべての選手を公平に見なければいけない審判員という立場上、私個人の感情は抑えるように努めておりますが、それを一瞬忘れて、観客のような気持ちで見入ってしまうほどの熱戦の数々は、とても印象に残る物でした。一つの試技にかける集中力、勝敗に一喜一憂する姿、観客までも巻き込むほどの会場全体を包み込む緊張感は、本大会にまったく引けを取っていなかったと確信しております。

中級の部は、本大会に比べれば当然の事、選技の難易度は低く設定してあります。しかしそれが、けん玉という競技の魅力を低下させる要因とはならないということがはっきりと確認できた事は、非常に大きな収穫であったと同時に、今後の東海地区における、けん玉普及への確かな手応えを得た大会であったと言えるでしょう。

男子予選成績

順位	氏名	学校名			学年	得点
1	下山 祐貴	静岡県	長泉町	長泉北小学校	6	46
2	原田 涼佑	静岡県	長泉町	長泉北小学校	6	43
3	野副 優季	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	5	32
4	柳澤 良太	静岡県	静岡市	井宮北小学校	5	30
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

合計 4名参加

男子1回戦第1試合

下山			種目	吉山		
1	2	3		1	2	3
×	○		・ 一回転飛行機	×	×	
○			さか落とし	×		
			・			
			・			
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

男子1回戦第2試合

野副			種目	寺嶋		
1	2	3		1	2	3
×			・ うらふりけん	○		
×	×		一回転灯台	×	○	
			・			
			・			
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

男子1回戦第3試合

青崎			種目	柳澤		
1	2	3		1	2	3
×			・ うぐいす	○		
○			宇宙一周	×		
			・			
			・			
44.09秒			タイム競技	秒		
2			得点	1		

男子1回戦第4試合

長谷			種目	原田		
1	2	3		1	2	3
×			一回転飛行機	○		
×			一回転灯台	○		
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

男子準決勝第1試合

下山			種目	寺嶋		
1	2	3		1	2	3
○	○		一回転灯台	○	×	
○			うらふりけん	×		
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

男子準決勝第2試合

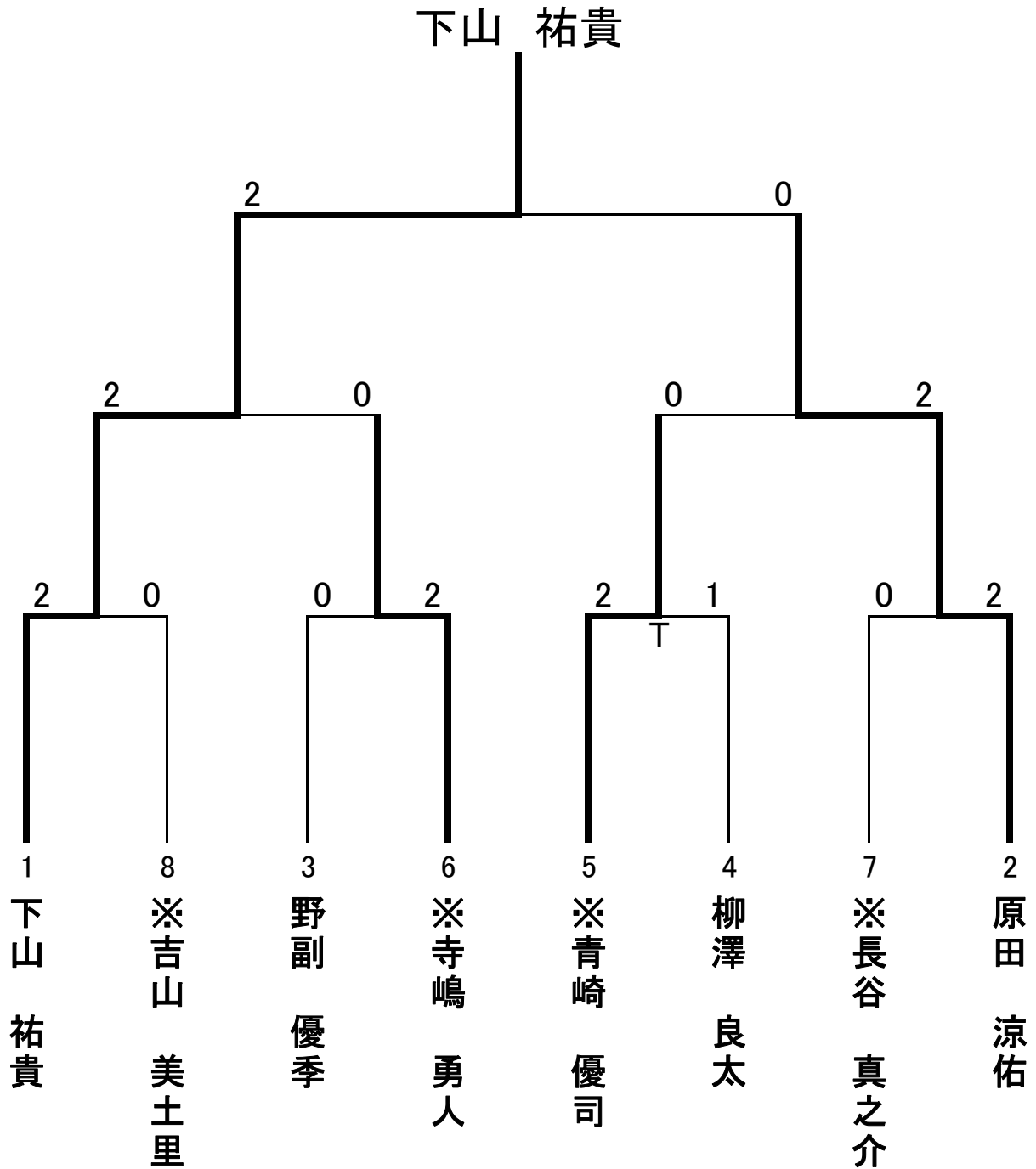
青崎			種目	原田		
1	2	3		1	2	3
×			さか落とし	○		
×			地球まわし	○		
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

男子決勝

下山			種目	原田		
1	2	3		1	2	3
○			・ 一回転灯台	×		
○	○	○	つるしとめけん・	○	○	○
○	○	○	・ うぐいす	○	○	○
×	○		ふりけん～はねけん・	×	×	
○	○	○	・ さか落とし	○	○	○
			・			
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

男子決勝トーナメント

優勝: 下山 祐貴
準優勝: 原田 涼佑



※中級の部・予選上位者より引き上げ

男子の部 観戦レポート：見城 崇

今回の大会は、男子の部の出場者がたった 4 人と聞いて驚きました。僕は、この大会に初めて出場した、同じ静岡市の柳澤くんを個人的に応援していました。4 人ならベスト 4 は確実だな、と思っていたところ、中級から上がってきた青崎くんを負けてしまいました。中級の上位の人たちは、段を取っていなくても上級に参加できそうだと思います。今年中級で参加した上位の人は、来年はぜひ「男子の部」に挑戦してみしてほしいです。

今大会で優勝した下山くんは、失敗が 2 回と少なかったし、昨年までと比べてレベルが上がったなと思いました。

でも、全国大会は観客がたくさんいて、とても緊張します。失敗数ももっと増えると思うので、本番では他人のことは考えず、自分のことだけに集中して、いつもどおりできるようにがんばってほしいです。

女子予選成績

順位	氏名	学校名			学年	得点
1	湯山 瑛子	静岡県	小山町	明倫小学校	4	46
2	山田 みなみ	愛知県	名古屋市	篠原小学校	6	25
3	平田 翔子	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	4	22
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

合計 3名参加

女子1回戦第1試合

湯山			柄澤			
1	2	3	種目	1	2	3
×	○		さか落とし	×	×	
×	○		宇宙一周	×	×	
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

女子1回戦第2試合

平田			梅賀			
1	2	3	種目	1	2	3
×	×	×	灯台とんぼ返り	×	×	×
×	○	×	うぐいす	×	○	×
×	×	×	一回転灯台	×	×	×
×	×	○	うらふりけん	×	×	×
秒			タイム競技	秒		
1			得点	0		

女子1回戦第3試合

前田			茂木			
1	2	3	種目	1	2	3
×	×	×	ふりけん～はねけん	×	×	×
×	×	○	つるしとめけん	×	×	×
×	×	×	宇宙一周	×	×	×
×	×	×	一回転飛行機	×	×	×
秒			タイム競技	秒		
1			得点	0		

女子1回戦第4試合

後藤			種目	山田		
1	2	3		1	2	3
×	○	×	・ つるしとめけん	×	○	×
×	×		さか落とし	×	○	
×	×	×	・ ふりけん～はねけん	×	×	×
×			うぐいす	○		
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

女子準決勝第1試合

湯山			種目	平田		
1	2	3		1	2	3
○			・ さか落とし	×		
○			灯台とんぼ返り	×		
			・			
			・			
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

女子準決勝第2試合

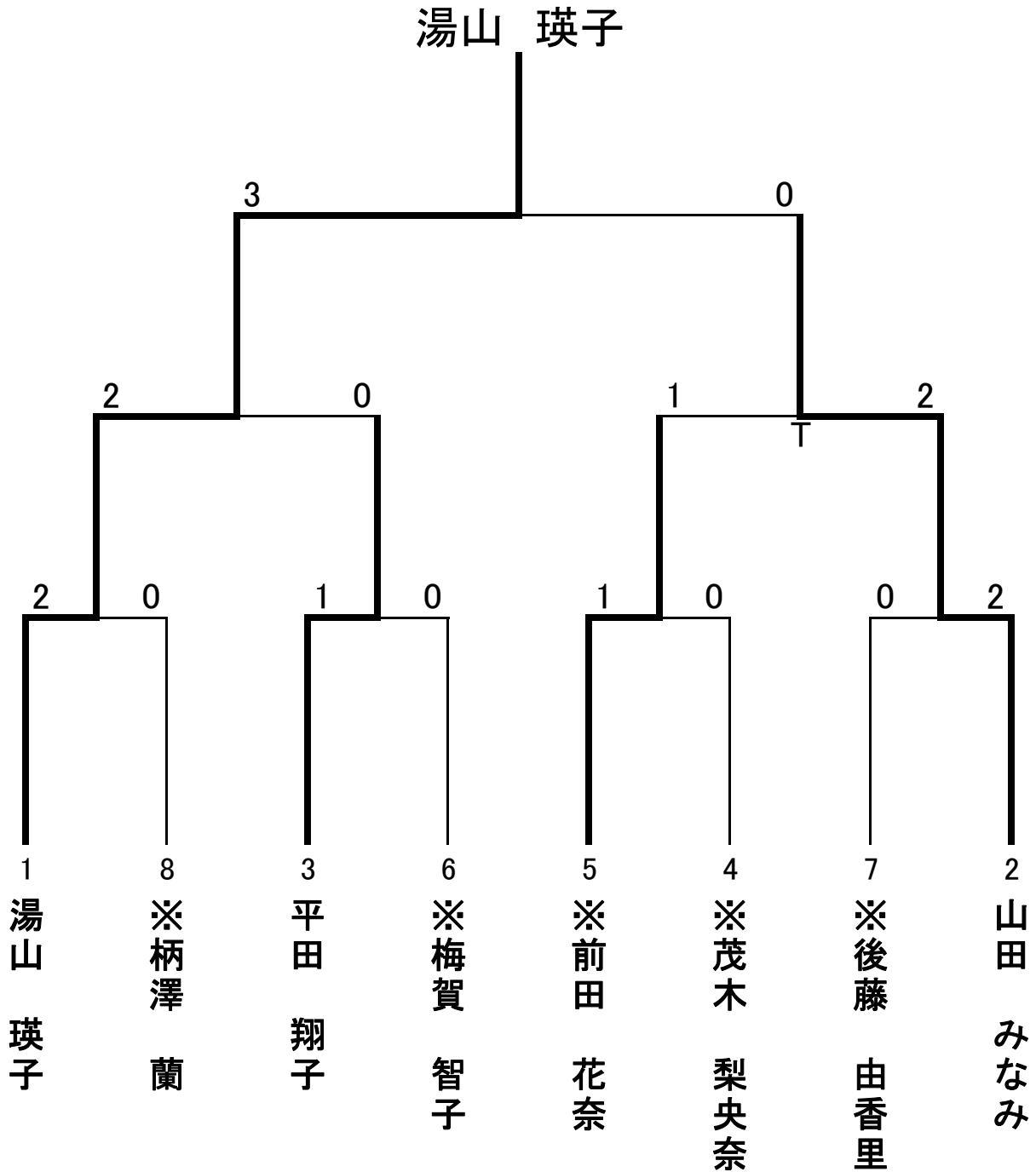
前田			種目	山田		
1	2	3		1	2	3
×	×	×	・ うらふりけん	×	×	×
×	×	○	つるしとめけん	×	×	×
×	×	×	・ 地球まわし	×	×	×
×	×	×	うぐいす	×	×	○
秒			タイム競技	(時間制限)120秒		
1			得点	2		

女子決勝

湯山			種目	山田		
1	2	3		1	2	3
○			・ 地球まわし	×		
○			つるしとめけん ・	×		
○			・ うぐいす	×		
			・			
			・			
			・			
秒			タイム競技	秒		
3			得点	0		

女子決勝トーナメント

優勝: 湯山 瑛子
準優勝: 山田 みなみ



※中級の部・初級の部・予選上位者より引き上げ

女子の部 観戦レポート：堤 飛鳥

《女子の部》

こここのところ参加人数に伸び悩んでいる女子の部。今回も3人という人数であった。予選は湯山選手が46点、山田選手25点、平田選手が22点という結果に。昨年同様湯山選手が大きく差をつけた。

さて決勝トーナメントであるが中級の部から5名を繰り上げてスタート。第1試合に出た湯山選手は、2本先取して準決勝に駒を進めたものの、安心していただけ1種目、2種目ともに1回目で失敗をしてしまった。今まで色々な大会で湯山選手の活躍を観てきたが、今回のようなケアレスミスは珍しく、調子が良くないのではと心配する部分があった。しかしその後の準決勝、決勝ではストレート勝ち。昨年、一昨年に続き代表の座を守った。

その他女子のトーナメントだが、ほぼ横一線という状態で、4選技すべてを行い僅差の争いを繰り広げた。

《総評と第18回文部科学大臣杯に向けて》

女子の部の総評としては冒頭でもあげたように、参加人数に伸び悩んでいる現状がある。大会に参加している選手の中に女子選手はいるものの、女子の部(上級の部)に出られるまでの技術がついていないのである。他の地区でもこういった現状に悩まされているが、今後長い目で東海地区の代表を考えた場合、早急に女子の育成を目指す必要があるであろう。また今回は男子の部に関しても4人という人数であり昨年までのレベルに一步及ばない。選手の強化に力を入れなくてはならないであろう。

さて地区予選も終わり、8月27日に行われる本選に向けて準備を開始。今年で3年連続出場となった湯山選手には大臣杯を手にする事ができるよう頑張ってもらいたい。2回の大会同様落ち着いた試合をし、ミスを少なくすることで日本一の座に手が届くであろう。また初出場の下山選手には、会場の雰囲気には負けないよう正々堂々と戦って欲しい。

全国から予選を勝ち抜いた強豪が集まる池袋サンシャインシティで今年はどうなるドラマが繰り広げられるであろう。東海地区の代表の活躍も楽しみだ。